

南予地域柑橘農業復興対策チーム

第 24 回会議 資料

【室内会議】

（１）復旧・営農再開状況について

- ①再編復旧工事の進捗状況について 1
- ②原形、改良復旧園地の営農再開状況について 5
- ③令和 8 年産かんきつ生産見込みについて 6

（２）営農支援及び災害に強い園地づくりに向けて

- ④営農支援状況と今後の支援対策について 7
- ⑤情報提供
 - ・「紅プリンセス」の実証試験 13
 - ・再編復旧園地における「媛小春」の栽培状況 14
 - ・災害に強い園地整備手法確立事業 15
 - ・南予用水畑かん施設事前復興体制構築 18

【現地研修】

- 現地研修場所 詳細 19

再編復旧園地（玉津地区白浦 B 工区）

(1)-①再編復旧工事の進捗状況について

再編復旧「玉津地区」

概 要

【地区概要】

園地の緩傾斜化と排水機能を備えた農道や園内作業道を整備し担い手に農地を集積するほか、主力品種の温州みかん（南柑20号等）に加え、有望品種の紅プリンセスを新たに導入することで、担い手の所得向上や周年供給体制の強化を図り産地の底上げに繋げる。



【事業概要】

- ・事業名 農地中間管理機構関連農地整備事業
- ・事業費 1,230 百万円
- ・受益面積 5.4 ha（白浦工区：1.7 ha、法花津工区：3.7 ha）
- ・工期 令和2年度～令和9年度（予定）
- ・主要工事 区画整理 5.4 ha

事業実施スケジュール

工区名	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	植栽
シロウラ 白浦	測量 設計	区画整理工事 植栽開始						換地 処分	R6年春一部開始 R9春全面完了予定
ホケツ 法花津	測量 設計	区画整理工事 植栽開始						換地 処分	R7年春一部開始 R9春全面完了予定

整備構想図

(白浦工区)



整備構想図

(法花津工区)



白浦工区



法花津工区



再編復旧「立間地区」

概要

【地区概要】

園地の緩傾斜化と排水機能を備えた農道を整備し、担い手に農地を集積するほか、高収益が見込める優良中晩柑類を導入することで、生産性と防災面に優れた生産拠点の確保を図り、産地力を強化する。

【事業概要】

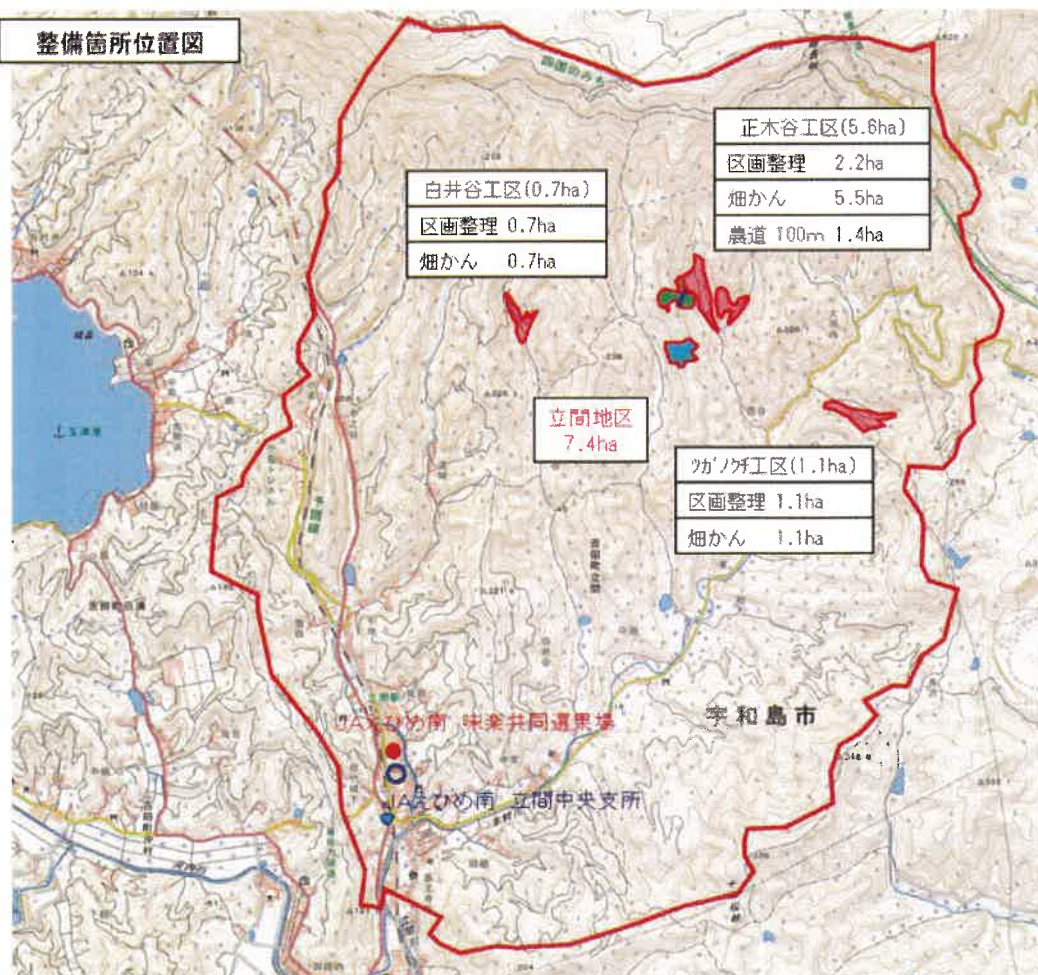
- ・ 県事業名 畑地帯総合整備事業(担い手育成型)
- ・ 事業費 823 百万円
- ・ 受益面積 7.4 ha (白井谷工区:0.7ha, 正木谷工区:5.6ha, ツガノクチ工区:1.1ha)
- ・ 工期 令和4年度～令和11年度(予定)
- ・ 主要工事
 - 区画整理 4.0ha(白井谷工区:0.7ha, 正木谷工区:2.2ha, ツガノクチ工区:1.1ha)
 - 農道整備 0.1km(白井谷工区:— km, 正木谷工区:0.1km, ツガノクチ工区:— km)
 - 用水施設整備 7.3ha(白井谷工区:0.7ha, 正木谷工区:5.5ha, ツガノクチ工区:1.1ha)



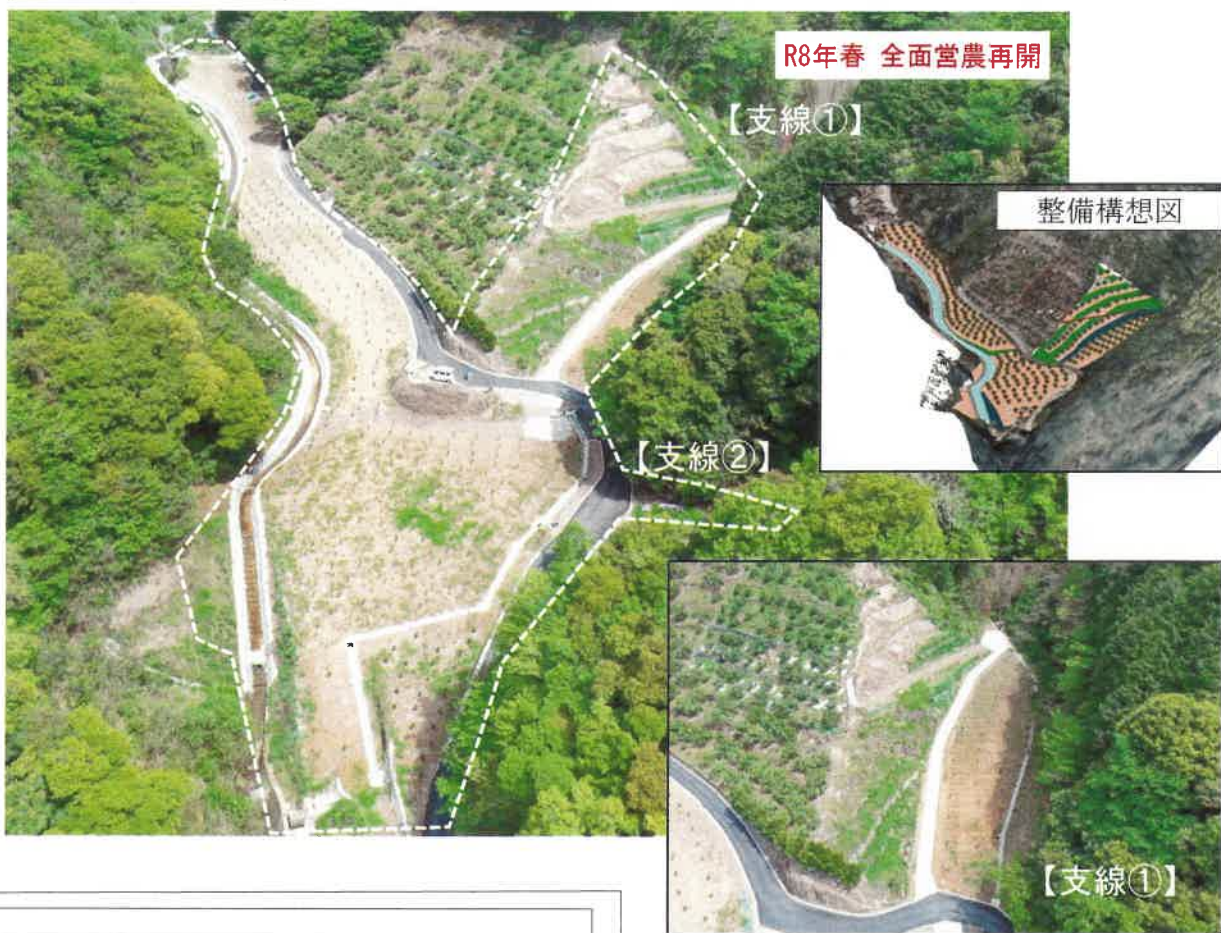
事業実施スケジュール

工区名	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	植栽
シライダニ 白井谷	測量 設計	区画整理工事			換地処分				R7春一部開始 R8春全面完了
			植栽開始						
ツガノクチ	測量 設計		区画整理工事			換地処分			R9春 一部開始予定
			植栽開始						
ショウギダニ 正木谷	測量 設計		区画整理工事			換地処分			R9春 一部開始予定
			植栽開始						

整備箇所位置図



白井谷工区



ツガノクチ工区



R6.9 工事着手



正木谷工区



(1) -② 原形・改良復旧園地の営農再開状況

(1) 原形、改良復旧の取組及び営農再開状況

- ・ R 5 年12月までに、142箇所（10.7ha）全ての復旧工事が完了
- ・ 同時期に、全箇所にて営農（土づくり等）再開
- ・ 全142箇所で植栽済（142箇所/142箇所＝100%）
- ・ R 8 年度に、77箇所において収穫予定（77箇所/142箇所＝54%）

※農協等に出荷できる品質が確保できた園地を収穫園地としている。

（植栽から5年を目途に想定している）

(2) 今後の取り組み

- ・ これまでに復旧完了した園地も含めて、肥培管理などの営農支援体制を継続強化

〈復旧園地の収穫前状況〉



原形復旧園地

吉田町白浦



改良復旧園地

吉田町河内

(1) -③ 令和8年産かんきつ生産見込みについて

1 生産状況の推移

単位:上段 t 下段 %

	令和7年産	令和6年産	令和5年産	令和4年産	令和3年産	平成29年産 (被災前)
J A えひめ南	17,307 (90)	8,772 (45)	16,693 (86)	16,689 (86)	18,960 (98)	19,319 (100)
愛媛県	121,800 (101)	76,100 (63)	103,800 (86)	109,300 (91)	127,900 (106)	120,300 (100)
全国	656,300 (89)	559,600 (75)	602,109 (81)	682,200 (92)	749,000 (101)	741,300 (100)

※ 下段は平成29年産比

2 販売価格（京浜市場）の推移

単位:%

	令和7年産	令和6年産	令和5年産	令和4年産	令和3年産	平成29年産 (被災前)
J A えひめ南	103	135	110	102	98	100
愛媛県	116	131	111	107	99	100
全国	110	139	106	99	92	100

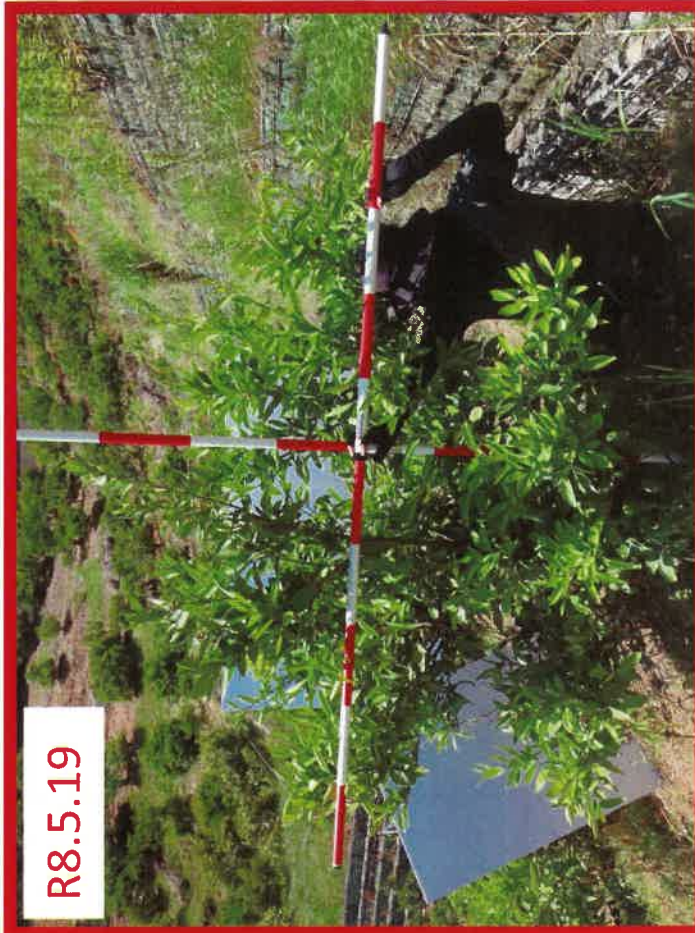
※ 平成29年産比

3 令和8年産の生産予想（5月時点）単位:t、%

	令和8年産	前年実績比
J A えひめ南	14,981	87
愛媛県	114,557	94
全国	688,800	105

(2)-④営農支援状況と今後の支援対策について

R3.3定植 法花津 (N園) 原形復旧



R4.3定植 法花津 (A園) 原形復旧



R4.3定植 河内 改良復旧



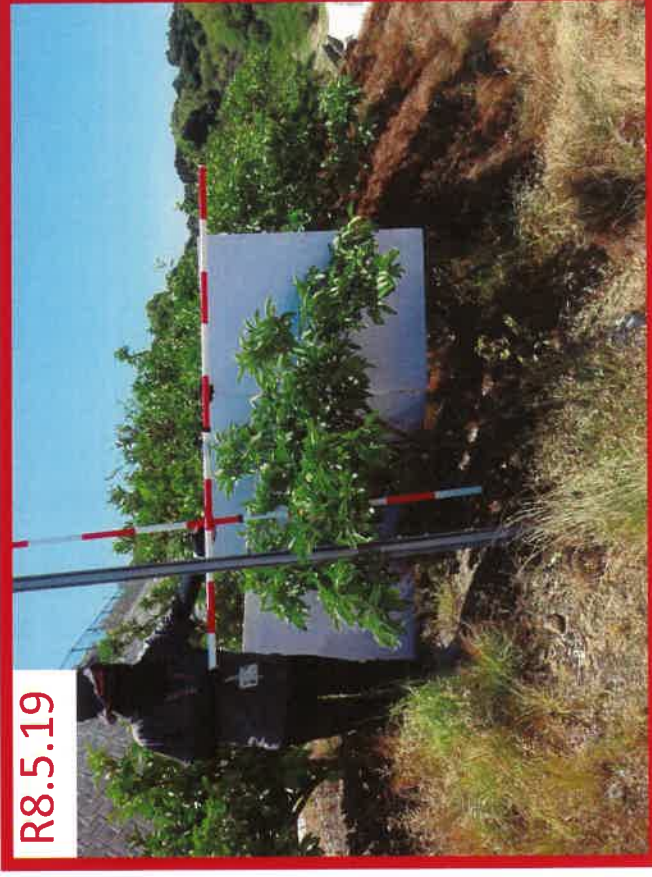
R6.9.3



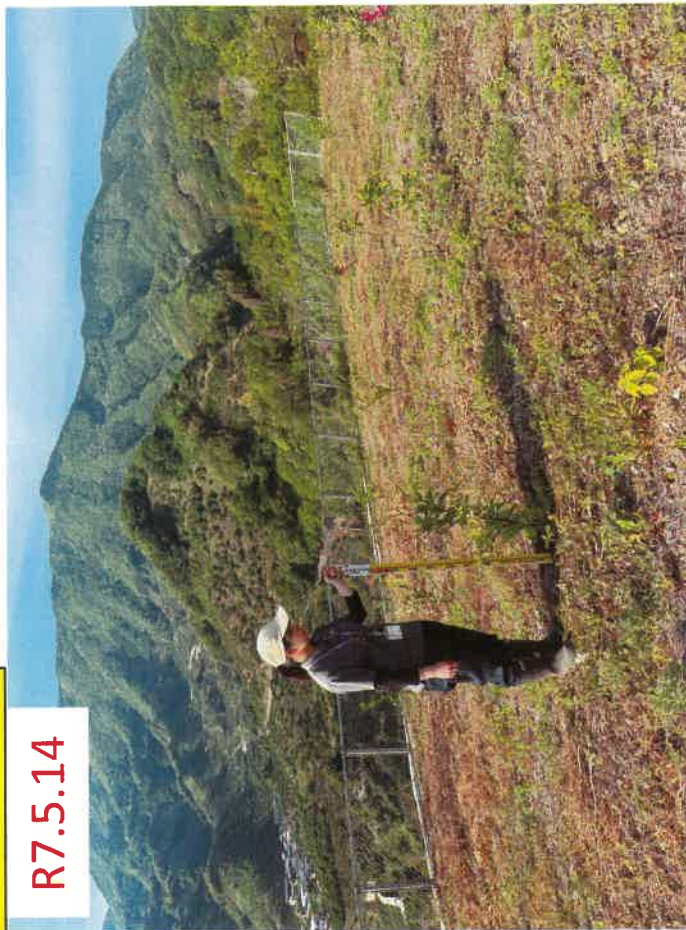
R7.5.14



R7.10.9



R8.5.19



早期成園化に向けた管理のポイント

1 大苗利用

未収益期間の短縮が可能となる2年生苗を利用する。

2 土壌改良

定植前には、植穴の深耕や堆肥や石灰資材の施用に取り組む。

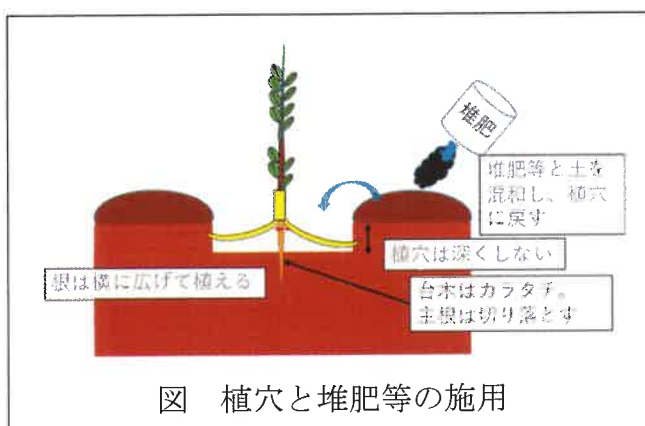
2年目以降も毎年1～2月に樹冠下に堆肥を施用するとともに、表土と混和する。



3 施肥の徹底

定植から収穫が始まるまでの間は、2か月おきを目安に施肥を行い、可能な限り表土と混和する。

また、防除等とあわせて液肥の葉面散布を適宜実施する。



4 かん水の徹底

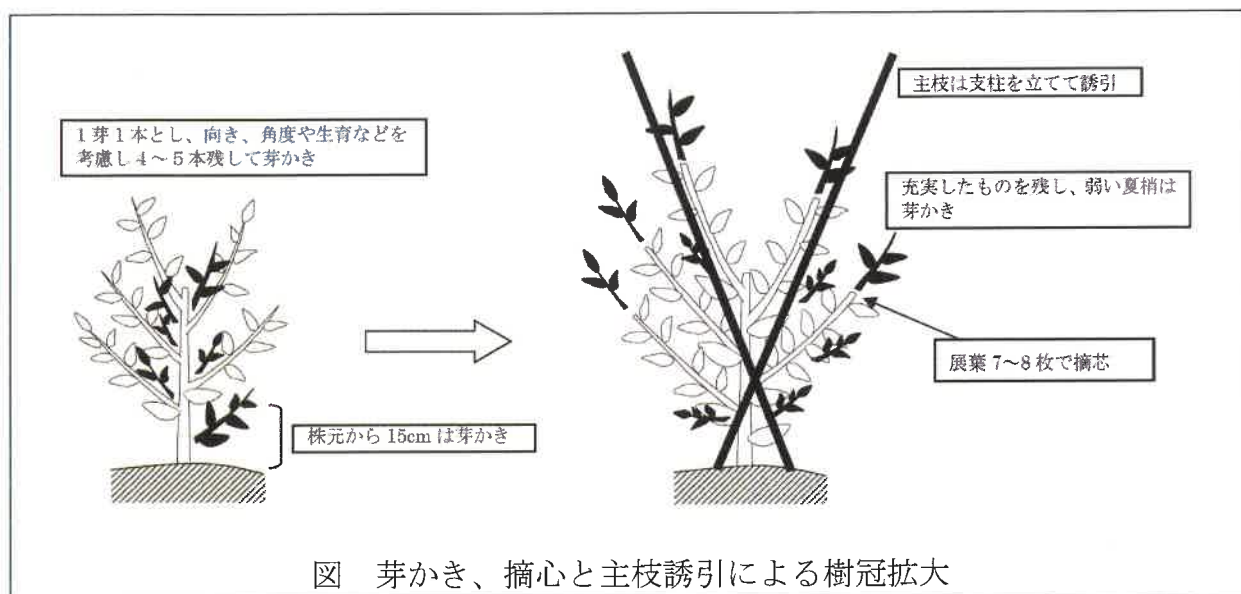
定植直後や夏季の高温乾燥時はかん水を徹底する。また、冬季を除く乾燥時には、適宜かん水を行い生育促進に努める。

5 病虫害・雑草防除の徹底

アブラムシやエカキムシ、カミキリムシ、かいよう病等の防除を徹底する。かんきつの生育阻害を防ぐため、適宜除草を行う。

6 芽かき、摘心による樹冠拡大

定植2年目までは、芽かきと摘心を実施し、早期の樹冠拡大に努める。



7 獣害対策

ウサギが出没する地域にあっては、主幹部の保護を、イノシシが出没する地域は電気柵で園地を囲うなどの獣害対策を講じる。

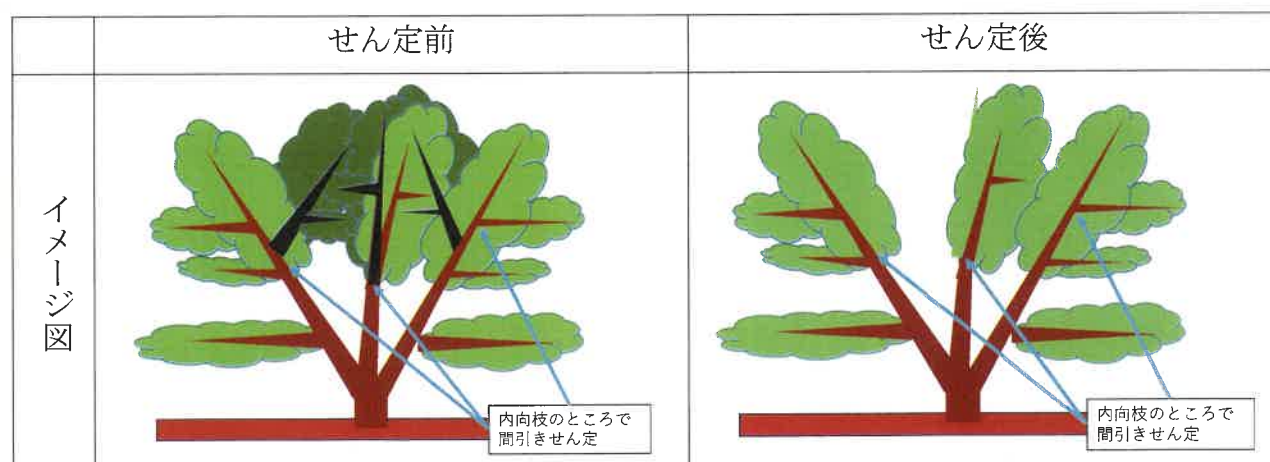


写真 ウサギ対策も兼ねたスクーティング



写真 電気柵による獣害対策

8 せん定



手順

- 1 せん定前の確認
主枝は3～4本とする。これよりも多い場合は、主枝数を減らすことも検討。
樹冠外から主枝が見えない状態は、葉数が確保されている証拠だが、このままだと樹冠内部まで農薬がかかりにくい。
- 2 主枝からでている内向枝を抜く。内向枝を抜くと、主枝が見えてくる。
※ノコギリを使用する。
- 3 亜主枝の競合枝の除去（樹冠内部への入り口確保）

「愛媛果試第48号」の高品質安定生産に向けた取り組み

令和8年7月2日

南予地方局 地域農業育成室

○背景

愛媛県オリジナル品種「愛媛果試第48号（紅プリンセス）」は、令和6年度から本格販売が開始され、美しい外観と良食味で県内外の消費者から高い評価を得ている。管内でも苗木の導入が進み、17.2haが栽培されている。一方で、栽培上の課題としては、す上がり果の発生、糖度不足、日焼けや微裂果等の外観不良により、「紅プリンセス」の合格率が下がること¹が挙げられる。す上がり果については、樹冠内部・下部、樹齢の若い樹で発生が多いことから、摘果での対応や枝を横に誘引して樹勢を抑え気味にする樹作り、光センサー選果機での選別等で対応可能なことが分かってきたものの、その他の課題については、全県下で対応策を実証中で、データを蓄積しているところである。

○令和7年度の取り組みと成果

南予地方局では、高品質安定生産に向けて、課題となっている日焼け、糖度不足について対策実証を行った。

日焼け対策として、夏期に白サンテを被覆したところ、日焼け果の発生を抑え、果実品質にも影響はなかったことから、白サンテの被覆は有効と考えられる。一方、管理作業が増えることから、引き続き省力な対策を検討する。

糖度不足対策として、仕上げ摘果時期を通常（8/30）と後期（9/22）で検討したが、糖度上昇効果は見られなかったことから、来年度も引き続き対策を検討する。

す上がり果については、概ね発生の特徴が明らかになってきているため、発生部位の摘果指導を実施した。



す上がり果



日焼け果



微裂果

○令和8年度の取り組み

す上がり果は、樹齢で発生状況が異なると想定されることから、再度、発生位置や果実硬度等特徴調査を行う。また、生育後期の微裂果発生と糖度不足対策として、着果量を多めに管理して仕上げ摘果時期を遅らせるなど、仕上げ摘果の最適時期を見極め、微裂果発生及び果実品質への影響を調査する。

再編復旧園地における「媛小春」の栽培状況について

令和8年7月2日

南予地方局農業振興課 産地戦略推進室

1 再編復旧園地(法花津地区)における「媛小春」の状況

宇和島市吉田町法花津地区の再編復旧園地【和田工区】①1,484 m²では、令和7年3月に「媛小春」(ヒリュウ台木137本)を定植。株元にたい肥や液肥を施用することで苗木の初期生育を促し、早期成園化に取り組んできた。

当該園地は、水はけは良く、かん水施設が未整備で、まだ土壌は痩せている状況だが、定植後1年が経過した今春、新梢の伸長など一定の生育は確認された。



令和7年7月の園地状況



令和8年5月の園地状況



樹体の様子(6月3日)

今後は、樹の成長に伴い根域も拡大していくことから、緑肥作物(ソルガム)を列間に播種し、園地の土壌改良と地力増進を図っている。生育状況を見て2回程度刈り取り、猛暑対策として敷き草で活用。

秋には堆肥を施用するとともにマメ科植物を播種予定。



ソルガムの播種(6月3日)



ソルガムの発芽状況(6月15日)



園地状況(6月26日)

2 「媛小春」とは

「媛小春」は、平成20年に品種登録され、鮮やかな黄色い果皮と爽やかな甘みが特長の愛媛県オリジナル品種である。

露地栽培でも抜群の食味で近年人気が高まっており、宇和海沿岸で栽培を推進している。管内(宇和島地区)における栽培面積はR6:2.8ha→R7:5.3ha、栽培者数はR6:18戸→R7:40戸と拡大している。

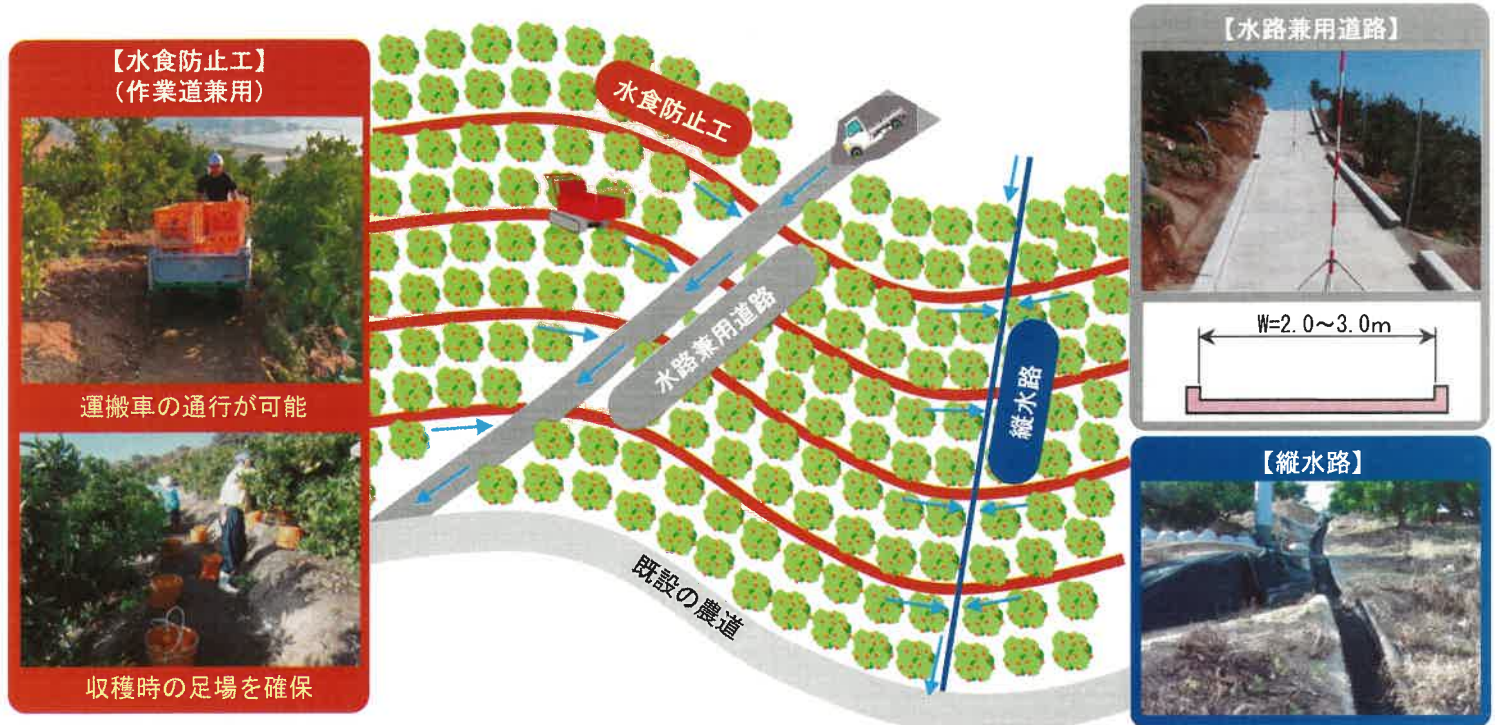
栽培では「樹勢が強く着果が安定しない」といった品種特性上の課題を抱えており、安定生産技術の確立に向けて、おい性苗木(ヒリュウ台木)の栽培実証に取り組んでいる。

ヒリュウ台木は、一般的に用いられる台木(カラタチ台木)と比較して樹形がコンパクトに抑えられる特徴を持つが、初期生育が緩慢になりやすく、早期成園化(収穫開始)に時間を要するという課題がある。



災害に強い小規模な園地整備について

傾斜園地の防災力と作業性の向上に向けた「より取り組みやすい小規模園地整備」を推進しています。



施設名	防災面での役割	営農面での役割
水食防止工（作業道兼用）	豪雨時に園地を流れる水を捕捉又は減勢	運搬車の通行、作業時の足場確保など
水路兼用道路	作業道で捕捉した水を園地外へ排水	軽トラック等の進入
縦排水路	作業道で捕捉した水を園地外へ排水	

水食防止工（排水機能を有する作業道）について

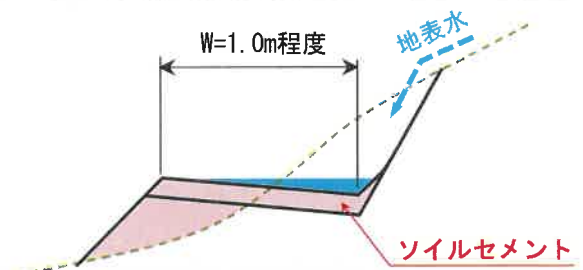
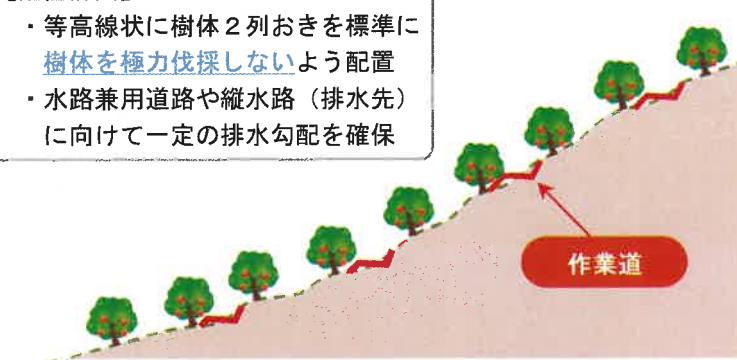
※実証園において施工性や効果を検証（R4～R6）

【配置計画】

- ・等高線状に樹体2列おきを標準に樹体を極力伐採しないよう配置
- ・水路兼用道路や縦水路（排水先）に向けて一定の排水勾配を確保

【構造】

- ・農作業運搬車の通行や、流水による浸食等を考慮し、路面をソイルセメント（セメント混合土）等で補強



水食防止工の効果（災害に強い園地整備手法確立事業R5～R6による検証結果）

宇和島市白浦

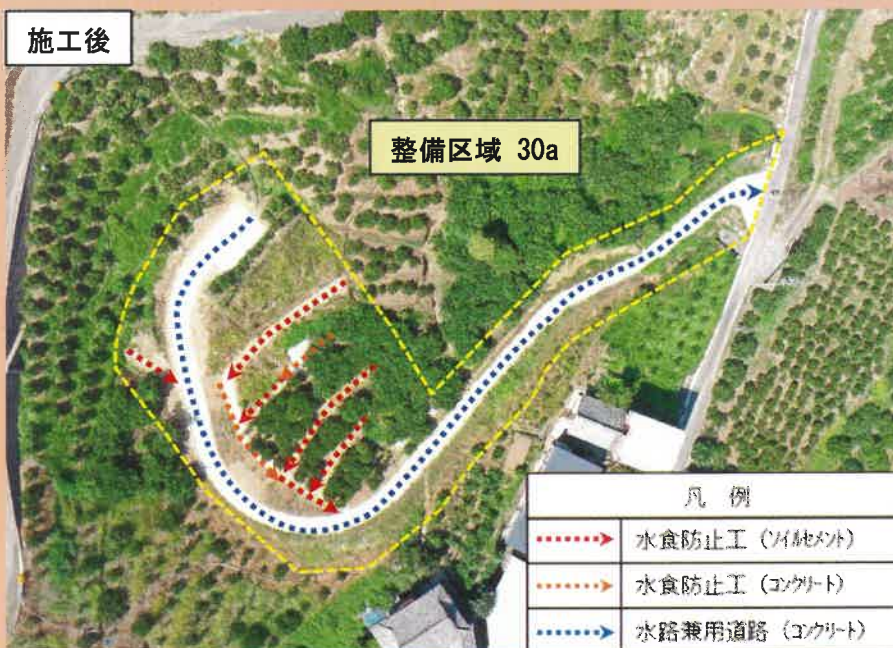
施工前

整備区域 30a



施工後

整備区域 30a



凡 例

→	水食防止工（マルチメント）
→	水食防止工（コンクリート）
→	水路兼用道路（コンクリート）

営農効果（運搬時間の減少）

園内道未整備（歩行）

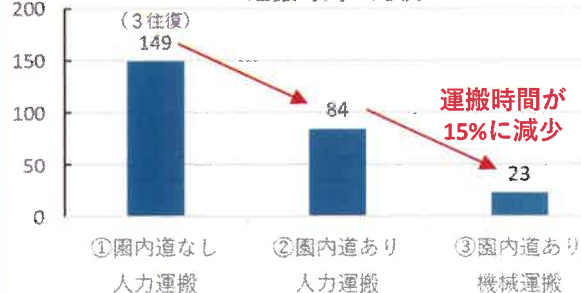


園内道整備後（機械運搬）



(秒)

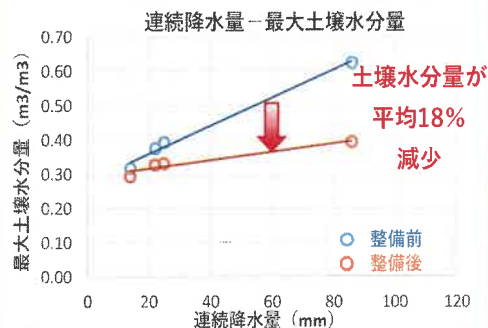
運搬時間の比較



※21mの距離を15kgコンテナ3箱（計45kg）運搬する時間

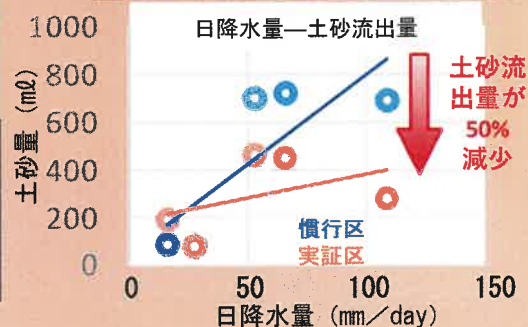
防災効果（土壌水分量の減少）

土壌水分測定器



防災効果（土砂流出量の減少）

慣行区と実証区で測定



小規模園地整備が国の補助を受けて実施できます

実施するための要件

事業費が200万円以上、受益農家が2者以上、工事の期間が5年以内など
補助率：国55%（中山間地域）、県（0～15%）、その他（45～30%市町負担含む）

詳しくは、県南予地方局農村整備課企画調整室（0895-28-6119）にご相談ください。

災害に強い小規模園地整備

令和8年度から「災害に強い小規模園地整備」 に取り組む2地区



春日地区

受益面積：1.0ha

十本松地区

受益面積：0.9ha

記号	名称
	承水路兼用道路
	水食防止工(兼 園内作業道)
	受益区域

春日地区



十本松地区



南予用水畑かん施設事前復興体制構築事業

平成30年7月豪雨で南予用水の畑かん施設が多数被災し、応急復旧と用水供給に時間を要したことから、農家の知識や技術習得を支援し、自助・共助の意識向上と事前復興体制の構築により、災害に強い柑橘産地の形成を目指す。

事業イメージ

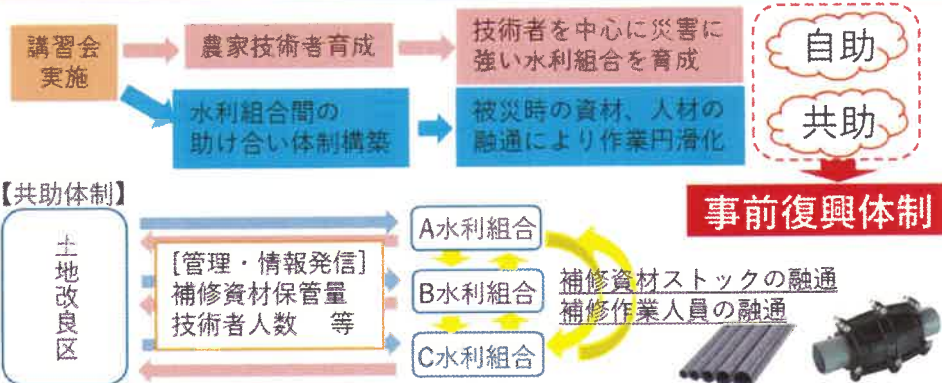
【現状】 施設造成から20年以上が経過し、造成に携わり施設に関する知識、技術力を有する専門業者・農家が減少し、被災時の早期復旧が困難。

【問題】 専門業者不足、農家の施設に関する知識・技術力不足、農家間での非常時の連携体制未整備による地域の大規模災害に対する対応力不足。

【対策】 施設の知識、応急復旧の技術を習得した農家技術者を育成し、営農組織の自助・共助による事前復興体制（早期復旧・協力体制）を構築。

【事前復興体制を構築するために】

農家を対象に、畑かん施設に関する知識、被災時における応急対応方法を習得するための講習会を実施し、自助能力の向上と共助体制構築を図る。



1 畑かん施設に対する農家の自助能力向上のための講習会の実施

開催時期：7月、9月、翌年2月

参加者：市町・JA・土地改良区、畑かん専門業者、地元農家

(1) 施設機能、役割及び被災時応急対応に関する座学演習（84千円）

▶ 畑かん施設の補修に必要な施設の機能、構造、操作方法及び被災時における応急対応に関する知識を習得する。

(2) 専門業者の技術指導による応急対応に関する実技演習（1,016千円）

▶ 専門業者の知識と経験を踏まえた技術指導により、現場技術を習得する。

2 共助による早期復旧・協力体制を構築

▶ 補修資材、育成した人材等に関する情報を各水利組合で管理し、水利組合間で共有する仕組みを整備。

▶ 非常時には、共有した情報を基に水利組合間で補修資材、人材等を融通する体制構築、指導を実施。

事業最終年度（R10）目標：全6土地改良区で体制構築



事業概要

土地改良区	ブロック数	1年目（R8）	2年目（R9）	3年目（R10）
宇和島市	15	講習① ② ③ 体制構築		
吉田町	39	講習① ② ③ 体制構築		
西予市明浜町	16	講習① ② ③ 体制構築		
西予市三瓶町	9		講習① ② ③ 体制構築	
八幡浜市	78		講習① ② ③	講習① ② ③ 体制構築
伊方町	41		講習① ② ③ 体制構築	

現地研修場所 詳細

1 日時 令和8年7月2日(木) 11:10~11:30

2 案内地図

① 宇和島市吉田町玉津地区白浦B工区

再編復旧園地(今年春植栽した園地)



① みかん研究所を出て吉田方面（R378 号線）へ向かう。

みかん研究所→白浦B工区 経路



②  を左折して玉津港線（県道 271 号線）に入る。

③ 赤矢印を右折し、道なりに走行する。



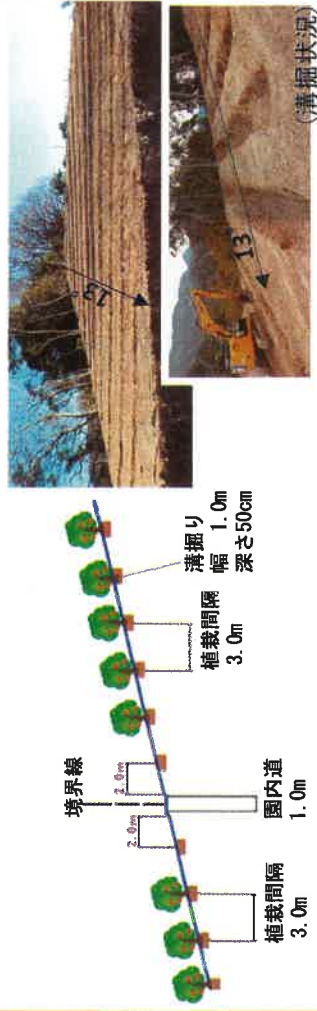
※進入路の路肩へ、係員の誘導により駐車してください 駐車後は徒歩で園地へ行く ➡



※小雨決行 傘をさして園地視察を予定

○樹園地造成面

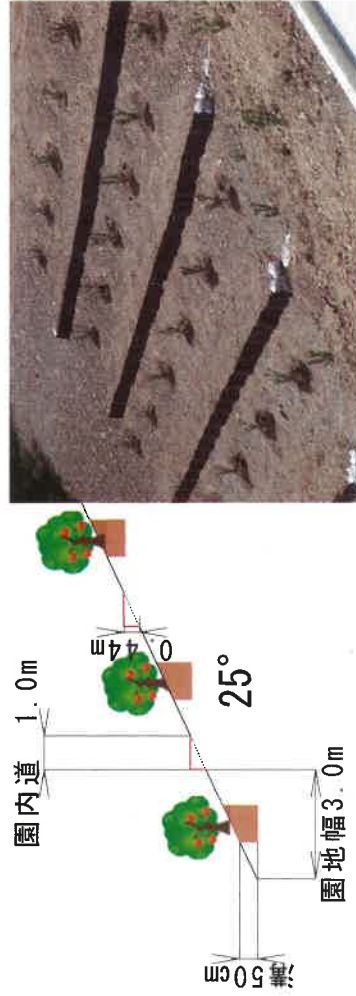
主傾斜20° 未満切土傾斜団地 拡大図



主傾斜30° 切土傾斜団地 造成拡大図



25° 盛土傾斜団地 拡大図



樹園地再編復旧

～農地中間管理機構関連農地整備事業～

【玉津地区】



愛媛県南予地方局農村整備課

令和8年4月

事業の概要

○目的

当地区は、愛媛県南部の宇和島市吉田町に位置し、水はけのよい地形を活かしたみかんの栽培が盛んに行われている。しかしながら、傾斜地で複雑な地形のため、営農に多大な労力を要している。このため、本事業により園地の緩傾斜化と排水機能を備えた農道や園内作業道を整備し担い手に農地を集積するほか、主力品種の温州みかん（南柑20号等）に加え、有望品種の紅プリンセスを導入することで、担い手の所得向上や周年供給体制の強化を図り産地の底上げに繋げる。

○概要

事業主体 愛媛県
関係市町村 愛媛県宇和島市
工期 R2～R9年度（予定）
事業費 1,230百万円
受益面積 5.4ha（区画整理）

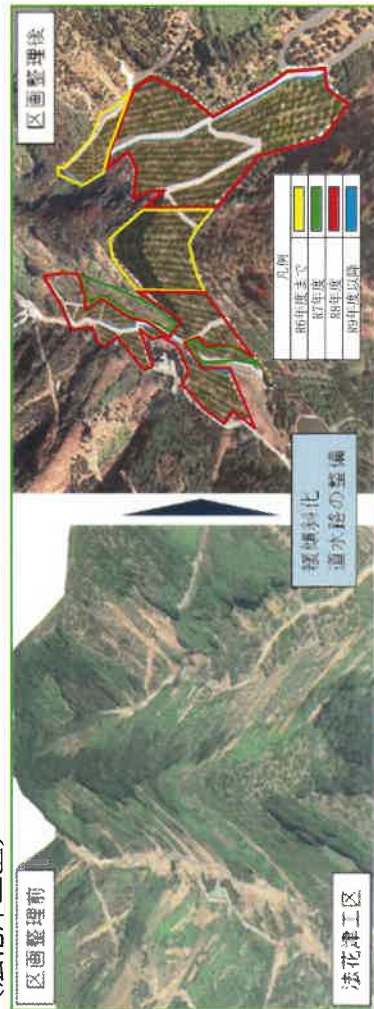


○完成予想図

（白浦工区）



（法花津工区）



○事業工程

工区名	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	営農再開
シロウラ 白浦	測量 設計				区画整理工事 植栽開始			換地 処分	R6年3月～ (白浦一部補栽)
ホケヅ 法花津	測量 設計				区画整理工事 植栽開始			換地 処分	R7年3月～ (法花津一部補栽)

○白浦B工区の状況



B工区

番号	年月	品種
①	R8.3	南柑20号
②-1	R8.3	紅7'プリンセス
③-1	R8.3	紅7'プリンセス
③-2	R8.3	南柑20号
②-2	R8.3	早生温州
③-3	R8.3	南柑20号
②-3	R8.3	早生温州
②-4	R8.3	早生温州
④		
⑤		

